

## 「家庭學習MGC」實踐例

西浦小学校

### ○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 低・中・高学年に配布している「家庭学習の手引き」より  
【低学年】

- (1) かえったら すぐに しゅくたいを すませましょう。

(2) がくしゅうするじかんを いえのひと はなしあって きめ、きあたじかんに がくしゅうするようにしましょう。

(3) がくしゅうに ひつようなようぐ(えんびつ、けごむ、じょうぎ)などは、じゅんびしてから はじめましょう。

(4) がくしゅうするときは テレビをけし つくえで がくしゅうしましょう。

(5) きめられたじかんは すわっておくように しましょう。

(6) かていがくしゅうは「たくしゅう」→「にっき」→「どくしょ」→「おんどく」のじゅんでしましょう。

(7) わんどくは、かなならず いえで わうちのひとに きてもらいましょう。

(8) しゅくだいが わわったら、まちがっている ところはないか みなおしましょう。  
(いえのひとに みてもらっても いいですね。)

【中学年】

- (1) 学習時間がくしゅうじmを家いえの方のと話はなし合あって決きめ、設定せてした時間じmに学がく習しゅうする習慣けいかんをつけましょう。

(2) 自分じぶんなりの学がく習しゅう方法ほうで、計画けいかく的に学がく習しゅうするようにしましょう。

(3) 学がく習しゅうに必要な用具ゆうぐ（鉛筆えんぴ、消しゴムけしゴム、定規じょうぎ、色鉛筆いろえんぴ）などは、準備じゅんびしてから取りかかかりましょう。

(4) 学がく習しゅうする時はテレビを消きし、机机で学がく習しゅうしましょう。

(5) 家庭かてい学がく習しゅう・児童じどうクラブでの学がく習しゅうは、「宅たく習しゅう」「日記ひき」から先まへにしましょう。

(6) 音読おんとくは必ず家いえでおうちの人ひとに聞いてもらいましょう。

【高学年】

- (1) 学習時間をの方と話し合って決め、設定した時間に学習する習慣をつけましょう。
  - (2) 見通しをもって、自分なりの学習方法で計画的に学習するようにしましょう。  
(一週間程度の計画を立ててみましょう。)
  - (3) 学習に必要な用具（鉛筆、消しゴム、定規、色鉛筆）等を、準備してから取りかかりましょう。
  - (4) 学習するときは、テレビを消し、机で学習しましょう。
  - (5) 「宅習」、「日記」から先にしましょう。
  - (6) 「音読」は、必ず家でおうちの人人に聞いてもらいましょう。

## ○ MGCの取組

【小学6年生 国語のMGC】

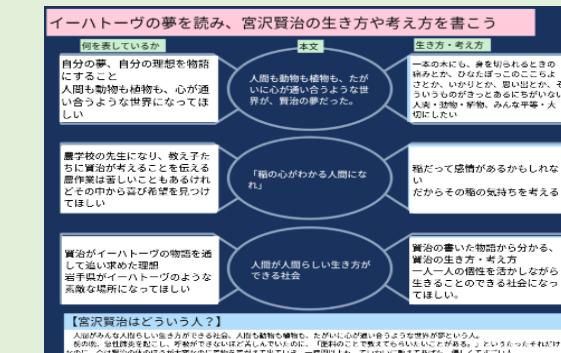
## 「個人の課題を解決するために、予習に取り組んだ家庭学習」

★ポイント！ 5月と12月の幻灯を絵に表して比較する（家庭学習での取組）



文章だけでは読み取りにくいことでも、絵に表すことで「死や生」「自然の怖さや恵み」について理解できる部分が多い。

★ポイント 宮沢賢治の考えを知る（授業での取組）



「イーハトーブの夢」から宮沢賢治の性格や考え方方が分かりそうな部分を書き出し、そこから、宮沢賢治の生き方や考え方を考える。

## ★ポイント2 宮沢賢治の考えと「やまなし」の関連をまとめる（家庭学習での取組）

「イーハトーブの夢」で読み取ったことが、「やまなし」ではどのように表現されているか読み取り、友達との考えを比較する。

